

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成31年2月14日

【四半期会計期間】 第44期第3四半期(自平成30年10月1日至平成30年12月31日)

【会社名】 伊豆シャボテンリゾート株式会社

【英訳名】 Izu Shaboten Resort Co.,Ltd

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 北本 幸寛

【本店の所在の場所】 東京都港区南青山7-8-4

【電話番号】 03-5464-2380

【事務連絡者氏名】 経営企画室室長 桑原 亮介

【最寄りの連絡場所】 東京都港区南青山7-8-4

【電話番号】 03-5464-2380

【事務連絡者氏名】 経営企画室室長 桑原 亮介

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第43期 第3四半期 連結累計期間	第44期 第3四半期 連結累計期間	第43期
会計期間	自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日	自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日	自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日
売上高 (千円)	2,336,459	2,328,872	3,117,281
経常利益 (千円)	348,180	322,773	466,555
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	304,922	319,916	451,847
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	303,007	317,114	451,820
純資産額 (千円)	1,606,298	2,072,110	1,755,041
総資産額 (千円)	2,322,460	2,577,366	2,322,964
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	10.71	11.24	15.87
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	69.2	80.4	75.6

回次	第43期 第3四半期 連結会計期間	第44期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日	自 平成30年10月1日 至 平成30年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	0.14	3.45

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

（1）経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等を背景に、緩やかな景気回復の動きが続いております。

このような状況下、当社が展開する各レジャー施設では、経営理念である「ステークホルダーと共に」及びブランドスローガンである「ご来園者の笑顔のために」の元に、各施設の入園者数と売上確保に努めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高23億28百万円（前年同四半期比0.3%減）、営業利益3億13百万円（前年同四半期比2.3%減）、経常利益3億22百万円（前年同四半期比7.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億19百万円（前年同四半期比4.9%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の概況は次のとおりであります。

伊豆シャボテン動物公園では、伊豆半島の冬の風物詩である「元祖カピバラの露天風呂」を今年も開催しております。また、アマゾンの小さな猿、アカテタマリンが双子で当園に入園しております。

伊豆ぐらんぱる公園では、伊豆の夜を彩る「グランイルミ」が4年目を迎え、例年よりも約一ヶ月早くスタートしております。また、本年はスマートフォンのコマーシャルの素材として利用して頂き、より多くの皆様にご来場頂いております。

入園者数は1,353千人（前年同四半期比3.0%増）となりました。入園者の増加は、先述した、グランイルミの開催時期の早期化及び4年目を迎えた事による地域への定着化によるものであります。

（2）財政状態の分析

1. 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9百万円増加し、6億3百万円となりました。これは主として、売掛金が22百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2億45百万円増加し、19億74百万円となりました。これは主として、建設仮勘定が1億76百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて2億54百万円増加し、25億77百万円となりました。

2. 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7百万円減少し、2億94百万円となりました。これは主として未払金が30百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて55百万円減少し、2億10百万円となりました。これは主として、偶発損失引当金が89百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて62百万円減少し、5億5百万円となりました。

3. 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて3億17百万円増加し、20億72百万円となりました。

また、自己資本比率は前連結会計年度末の75.6%から80.4%となりました。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動について、特記すべき事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000,000
計	50,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成30年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成31年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	28,496,537	28,496,537	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であります。 完全議決株式であり、権利内容に 何ら限定のない当社における標準 となる株式です。
計	28,496,537	28,496,537		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成30年12月31日		28,496,537		100,000		186,500

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成30年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等) (注1)	普通株式 23,000		
完全議決権株式(その他) (注2)	普通株式 28,250,400	282,504	
単元未満株式	普通株式 223,137		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数(注3)	28,496,537		
総株主の議決権		282,504	

(注1)「完全議決権株式(自己株式等)」欄は、全て当社保有の自己株式であります。

(注2)「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が29,080株
(議決権の数290個)含まれております。

(注3)当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成30年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成30年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
伊豆シャボテンリゾート 株式会社	東京都港区南青山 7-8-4	23,000		23,000	0.08
計		23,000		23,000	0.08

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成30年10月1日から平成30年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成30年4月1日から平成30年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、KDA監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	508,707	452,829
売掛金	45,495	68,248
未収入金	44	111
商品等	20,944	30,864
その他	18,743	51,037
流動資産合計	593,935	603,091
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,116,752	1,233,192
土地	88,132	15,550
建設仮勘定	141,975	318,834
その他	225,104	220,967
有形固定資産合計	1,571,964	1,788,544
無形固定資産		
ソフトウェア	3,522	1,109
その他	702	702
無形固定資産合計	4,224	1,811
投資その他の資産		
投資有価証券	10,873	8,071
長期化営業債権	12,156	12,156
破産更生債権等	3,399	754
繰延税金資産	113,250	100,922
その他	28,715	74,924
貸倒引当金	15,556	12,911
投資その他の資産合計	152,839	183,918
固定資産合計	1,729,028	1,974,274
資産合計	2,322,964	2,577,366

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,212	37,533
未払金	199,406	169,060
前受金	84	27
預り金	11,959	20,437
未払法人税等	5,039	11,105
賞与引当金	20,413	7,562
その他	25,066	49,239
流動負債合計	302,181	294,966
固定負債		
退職給付に係る負債	145,524	145,433
偶発損失引当金	89,063	-
その他	31,153	64,854
固定負債合計	265,741	210,288
負債合計	567,923	505,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	425,423	425,423
利益剰余金	1,244,783	1,564,700
自己株式	12,097	12,142
株主資本合計	1,758,110	2,077,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,068	5,870
その他の包括利益累計額合計	3,068	5,870
純資産合計	1,755,041	2,072,110
負債純資産合計	2,322,964	2,577,366

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	2,336,459	2,328,872
売上原価	827,033	778,781
売上総利益	1,509,425	1,550,090
販売費及び一般管理費	1,188,517	1,236,582
営業利益	320,907	313,508
営業外収益		
受取利息	148	38
受取賃貸料	911	1,240
為替差益	115	-
償却債権取立益	2,947	2,887
保険解約返戻金	18,335	-
その他	4,896	5,194
営業外収益合計	27,355	9,361
営業外費用		
支払利息	55	40
為替差損	-	11
その他	27	44
営業外費用合計	82	96
経常利益	348,180	322,773
特別利益		
固定資産売却益	92	2,196
受取保険金	4,080	33,212
特別利益合計	4,172	35,409
特別損失		
固定資産売却損	383	-
固定資産除却損	1,089	-
減損損失	570	-
特別損失合計	2,043	-
税金等調整前四半期純利益	350,310	358,183
法人税、住民税及び事業税	35,952	25,938
法人税等調整額	9,435	12,328
法人税等合計	45,387	38,266
四半期純利益	304,922	319,916
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	304,922	319,916

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	304,922	319,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,914	2,801
その他の包括利益合計	1,914	2,801
四半期包括利益	303,007	317,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	303,007	317,114
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

保証債務

連結子会社以外の会社の金融機関からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (平成30年12月31日)
スイート・ペイジ(株)	111,367千円	107,623千円

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (平成30年12月31日)
減価償却費	119,669千円	135,377千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

当社グループの事業セグメントは、レジャー事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

当社グループの事業セグメントは、レジャー事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	10円71銭	11円24銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	304,922	319,916
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	304,922	319,916
普通株式の期中平均株式数(株)	28,474,829	28,473,565
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成31年 2月14日

伊豆シャボテンリゾート株式会社
取締役会 御中

KDA監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐 佐 木 敬 昌 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 毛 利 優 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている伊豆シャボテンリゾート株式会社の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成30年10月1日から平成30年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、伊豆シャボテンリゾート株式会社及び連結子会社の平成30年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。